

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320238	X-21-B-2-320238	1	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	3年
中国語5bA	寺沢 一俊			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

授業目的

高度な語学運用能力をもって異文化理解の精神を研ぎ澄まし、国際社会なる多文化状況にあってポジティブに協動的にネットワークを拡張していく意欲と能力を身につける。

中国においては近年めざましい経済発展を遂げ、世界の国々に対して、さまざまな面で大きな影響力を持つようになった。このため中国語を使える人材にも正確かつ即応性のあるコミュニケーション能力がより強く求められている。ここでは主として中国語の複文を正しく理解し運用する方法を学ぶ。テキストの課文を文法、意味、語用の各レベルにおいて正確に把握することから始めて、各テーマの社会背景などについても考察し、より深く中国語で理解できるようにしたい。理解できた内容については暗誦、要約の発表、中国語による質疑応答などの練習をして実践に適應できる能力を高めたい。

各回の授業内容

<p>第1回 【授】 第一課：入学 (1) テキストの進め方について説明したのちテキストの学習にはいる。 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、音読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、さらに暗誦をして、その内容を説明できるようにすること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p>第2回 【授】 第一課：入学 (2) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、音読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、さらに暗誦をして、その内容を説明できるようにすること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p>第3回 【授】 第二課：祝日手当 (1) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、音読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、さらに暗誦をして、その内容を説明できるようにすること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p>第4回 【授】 第二課：祝日手当 (2) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、音読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、さらに暗誦をして、その内容を説明できるようにすること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p>第5回 【授】 第三課：おかあさん (1) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、音読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、さらに暗誦をして、その内容を説明できるようにすること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p>第6回 【授】 第三課：おかあさん (2) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、音読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、さらに暗誦をして、その内容を説明できるようにすること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p>第7回 【授】 第四課：先払い (1) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、音読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、さらに暗誦をして、その内容を説明できるようにすること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p>第8回 【授】 第四課：先払い (2) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、音読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、さらに暗誦をして、その内容を説明できるようにすること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p>	<p>第9回 【授】 第五課：贈答 (1) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、音読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、さらに暗誦をして、その内容を説明できるようにすること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p>第10回 【授】 第五課：贈答 (2) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、音読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、さらに暗誦をして、その内容を説明できるようにすること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p>第11回 【授】 第六課：地方出身者 (1) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、音読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、さらに暗誦をして、その内容を説明できるようにすること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p>第12回 【授】 第六課：地方出身者 (2) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、音読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、さらに暗誦をして、その内容を説明できるようにすること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p>第13回 【授】 第七課：三種の神器 (1) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、音読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、さらに暗誦をして、その内容を説明できるようにすること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p>第14回 【授】 第七課：三種の神器 (2) 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、音読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、さらに暗誦をして、その内容を説明できるようにすること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p>第15回 【授】 第八課：配達員 【前・後】 【予習復習に必要な時間：2時間以上】予習をする際には先ずテキスト課文のCD録音を聞き、音読をして意味を考えること。復習では音読を繰り返して中国語で内容を理解し、さらに暗誦をして、その内容を説明できるようにすること。暗誦した中国語をピンイン符号と漢字で書けるようにすること。</p> <p>第16回 【授】 定期試験 【前・後】 テキスト課文の各テーマについて中国語で口頭と筆記で対応できるように準備しておくこと。要点、練習問題を復習すること。</p>
--	--

成績評価方法

【成績評価】出席率 (20%)、小テスト・課題への取り組み (20%)、定期試験 (60%) の結果を総合的に判断する。
【フィードバックの方法】小テスト・課題はチェックをしてから返却し、必要に応じて解説をする。

教科書・参考書

教科書：杉野元子・黄漢青著「大学生のための現代中国語 12話・Ⅲ」白帝社
参考図書：講義中に紹介する。

受講に当たっての留意事項

予習をする際には先ず CD 録音を聞いてから、課文を音読すること。意味がはっきりしない時は、不明な部分を含む文を繰り返し音読すること。それでもわからなければ、その前後文も音読すること。それでもわからなければ授業で解決する事。意味がわかったら音読を繰り返して暗誦すること。暗誦できた内容についてはピンイン符号と漢字で書けるようにすること。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング (ディスカッション、グループワーク、発表 等) の実施
○	公式通訳の経験を有する教員が中国語によるコミュニケーション能力獲得を主目的とした授業を行う。	○

学習到達目標

テキスト課文を繰り返し音読して暗誦し、さらに課文の要約を中国語で説明できるようにしたい。説明できる内容についてはピンイン符号と漢字で書けるようにしたい。テキスト各課のテーマについて口頭で要約の説明や質疑応答ができるようにしたい。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
320238	X-21-B-2-320238	1	後期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択	3年
中国語5bB	姜 杰裕			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		

授業目的

前期に 学習した内容を基礎にして、語彙の範囲をより広げ、量を増やし、場面応用の会話能力を高める。基礎文法をしっかりと身に付け、日常生活及び大学生活の中で自分の言いたいことを文章に表現できるように中国語運用能力を高める。

各回の授業内容

<p>第1回 【授】 前期文法のまとめ、復習 【前・後】 前期に習った文法を整理して、問題点を整理しておく。事後に問題点を復習、第一課の新出単語と文法を予習復習五時間。</p> <p>第2回 【授】 第七課 文法解説 応用練習 【前・後】 事前に単語と文法を予習しておく。事後に文法を復習した上に本文を熟読、ドリルをして置く。予習復習4時間。</p> <p>第3回 【授】 第七課 本文解説・ドリル答え合わせ・会話練習 【前・後】 事前に学習した文法を復習、本文を音読し、日本語に訳す。ドリルをして置く。事後に学習内容を復習してから、第二課の予習をする。復習予習四時間。</p> <p>第4回 【授】 第八課 文法解説・本文解説 【前・後】 事前に新出単語と文法を予習しておく。本文を熟読し、日本語訳にしてみる。事後に本文を熟読して、ドリルをやって置く。予習復習五時間。</p> <p>第5回 【授】 第八課 文法応用練習、ドリル答え合わせ・会話練習 【前・後】 事前に習った文法をしっかりと復習しておく。ドリルをやるとき問題点を探し出す。事後に本文を熟読した上に日本語に訳す。第三課の予習をする。予習復習五時間。</p> <p>第6回 【授】 第九課 文法解説・本文解説 【前・後】 事前に配られたプリントをやって置く。問題点をまとめ、対策を考えて置く。事後に全体に復習する。事前事後学習五時間。</p> <p>第7回 【授】 第九課 文法の実用・ドリル・作文 【前・後】 事前に文法を復習、本文を音読、日本語に訳す。ドリルをやって置く。予習復習五時間。</p> <p>第8回 【授】 第十課 文法解説・応用練習 【前・後】 事前に新出単語と文法を予習しておく。事後に習った文法を復習、本文をたいことを音読、意味を理解、ドリルをして置く。予習復習四時間。</p>	<p>第9回 【授】 第十課 本文解説・ドリル答え合わせ・会話練習 【前・後】 事前に習った単語や文法を復習して、本文を日本語に訳す、ドリルをやって置く。事後に本文を熟読する。次回の話の作文の内容を考えて置く。自分の趣味を流暢に人に紹介出来るように整理しておく。事前事後学習五時間。</p> <p>第10回 【授】 作文一 買い物方法について話し合い、作文する。 【前・後】 事前に使いたい単語を調べ、習った文法を使い作文してみる。書いたものをイントネーションを留意して声に出して読んでみる。事後に次回の学習の文法と単語を予習しておく。予習復習五時間。</p> <p>第11回 【授】 第十一課 文法・本文 【前・後】 事前に単語と文法を予習しておく。本文を音読し、訳してみる。事後に文法を復習、ドリルをやって置く。本文を熟読する。予習復習五時間。</p> <p>第12回 【授】 第十一課 文法まとめ・ドリル答え合わせ・会話練習 【前・後】 事前に単語と文法を復習、音読練習する。ドリルをやって置く。事後に次回学習の単語と文法を予習しておく。予習復習四時間。</p> <p>第13回 【授】 第十二課 文法 応用練習 【前・後】 事前に新出単語と文法を予習しておく。文法疑問点をまとめる。事後に習った常用用語を流暢に言えるように繰り返し練習する。本文を予習、ドリルをやる。予習復習五時間。</p> <p>第14回 【授】 第十二課 本文を解説・ドリルの答え合わせ・会話練習 【前・後】 事前に本文を予習して、日本語に訳してみる。ドリルをやる。事後に学習した内容を復習する。復習学習時間五時間。</p> <p>第15回 【授】 総復習、質疑応答 【前・後】 今日まで習った内容を復習し、疑問点をまとめる。事後に解決された疑問点をしっかりと復習、期末テストに備える。予習復習六時間。</p> <p>第16回 【授】 テスト 【前・後】 テスト終了後、回答を説明する。休み期間学習計画を立て、中国語に毎日触れるようにする。</p>
--	---

成績評価方法

予習復習をしっかりとする。毎日中国語を音読するのを習慣化する。毎回会話練習を実施する。日常生活の中で意識的に中国語を使ってみる。小テストはその場で答え合わせを行い、問題点を解決する。レポートは添削してから返し、質疑応答を行う。内容により口頭発表を実施する場合もある。成績は期末試験（40%）、小テスト（10%）、宿題・レポート（15%）、授業参加・授業態度（15%）、成果発表（20%）を合わせて総合的評価する。

教科書・参考書

「温故知新！中国語Ⅱ」 虞萍 著 朝日出版社 2200円

受講に当たっての留意事項

日中辞書を持参する。成績は出席率、授業参加、宿題提出、テスト等により総合的に評価する。 ※事情により授業の予定が変更する場合もある。

実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性	アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×		○

学習到達目標

旅行、買い物、病院、両替、料理の注文などの場面での会話が自然にできるようにコミュニケーション能力を高めていく。その上に自分の考えを文章にまとめられるような作文能力を付けていく。中国語検定3級、HSK4級合格レベルに達する。

JABEE

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習